

# 中国における平均給与

岡山県上海事務所

皆様、はじめまして。この度岡山県の上海支援窓口を担当することになりました、池田博明です。以後宜しくお願いします。

さて、4月上旬に、上海でも2016年度の平均給与額が公表されました。金額は年間で78,045元。月に直すと6,504元となります。15年度が71,268元(5,939元/月)でしたので、上昇率は9.5%になります。これだけですと、企業経営にとって、単に給料が上がって大変という話なのですが、具体的な影響について、いくつかご紹介します。

## ① 社会保険のコストが変わる

中国では、中国人社員や一部地域では外国人（日本人も含む）の社会保険を納付しています。個人負担分と会社負担分があるので、当然会社負担分の金額が上がると企業経営に影響を与えます。

社会保険基数は前年の平均給与の60%～300%の間となっており、上限にかかっているような高級管理職の社会保険コストは企業に大きく影響を与えますし、製造業の場合もワーカーにかかる社会保険の下限が引き上げられているため、コスト増加に繋がる可能性もあります。

### <ポイント>

$6504 \times 60\% \leq \text{社会保険基数} \leq 6504 \times 300\%$

## ② 経済補償金の上限が引き上げられる

中国では企業と退職者が最後に揉めてしまうことが多々あります。日系企業では、退職時に、通常「法律に定められている経済補償金」に+1～3ヶ月分の給与を加算するなど、大目に支払って退職させることが多いのですが、やはり、企業としてのコストは大きくなります。

現在、中国での「中国人高級管理職」の人材に支払っている給与は日本と大差ないか、中国のほうが高いケースがあります。そのため、ある程度の管理職についている中国社員達は経済補償金も上限で計算することが多く、今回平均給与が上昇したことにより、経済補償金の上限も自動的に引き上げられることとなります。

このため、管理職クラスの中国人の方々は、自主退職ではなく会社都合の退職になるように交渉してくるケースもそう珍しいことではありません。

### <ポイント>

**平均給与 × 300% = 経済補償金の上限**

この他にも企業として気をつける点としては「労災時の支払いの金額の上限も引き上げられる」、「産休時の給与保障の数字が変わる（これは一概にコスト増とは言えないのですが）ことにも気をつける必要があります。

このように、単に平均給与の数字が公表  
されました、と言うだけで企業経営の様々  
な部分に影響を与えます。岡山県上海事務  
所では日々、このような部分も研究してお  
りますので、いつでもお気軽にご相談くだ  
さい！

(2017年4月)